

24/126
63/

南砺市長

田 中 幹 夫 殿

富山干柿生産振興に関する
要 望 書



農事組合法人

富山干柿出荷組合連合会

組合長 仲 筋 英 生

南砺市長 田中幹夫 殿

要 望 書

日頃は南砺市政の発展・農業の振興に御尽力を賜っておりますこと感謝申し上げます。

昨年11月12日に「富山干柿」「富山あんぽ柿」を南砺市加工農産品認証品として認定を頂き有難うございました。「とやま県推奨とやまブランド」の認定とともに、組合員一同その名に恥じない良質でおいしい干柿作りに専念、意を新たにしております。

平成24年度は開花期の好天や、台風の被害もなく、全国的な豊作となりました。梅雨明けから柿の収穫期前の異常高温による収穫遅れや11、12月の収穫・乾燥期の低温降雨、降雪による加工作業が遅れ、12月中旬の御歳暮需要に支障を来たす結果となりました。

また、リーマンショック後の世界的な経済の低迷に加え、「消費税率」の改変や「尖閣諸島」問題による日中関係の悪化など消費者の購買意欲や市場動向に大きく影響を及ぼし、販売価格の大幅な下落を招く厳しい年となりました。

富山干柿の生産も米・野菜などの農産物の生産環境と同じく、高齢化・後継者不足が現実問題として心配されていますが、平成24年度の干柿販売状況はさらに厳しさが加速する結果となり、今後の干柿生産活動の縮小・廃止の動向を大変心配を致しております。後継者が育ち、継続性のある産地となるよう南砺市をはじめ、富山県の各指導機関の皆様の御指導御支援を強力にお願い致します。

1. 耕作放棄園、廃園を出さない対策
 - ①・柿園の流動化に対する助成
 - ②・放棄園の事前把握及び規模拡大希望者の把握

2. 生産効率、生産拡大を計る対策
 - ①・省力型乾燥機の導入助成
 - ②・堆肥散布の助成
 - ③・熟期促進等の技術開発

3. 干柿の消費拡大を計る対策
 - ①・学校給食等で消費拡大と食育をすすめる
 - ②・児童生徒の干柿作りなど体験学習を通じ、伝統産業の理解を深める取り組み
 - ③・干柿の多目的利用、二次加工品の研究開発を行ない、通年消費をすすめる取り組み

以上

平成25年1月17日

農事組合法人

富山干柿出荷組合連合会

組合長 仲筋英生

